



Plaisir de l'Histoire de la Mode
Alexandre Ligonnet Collection de garments et livres de mode

ファッション史の愉しみ

世田谷美術館

Setagaya Art Museum

2016年
2.13 [五] ~ 4.10 [日]

— 石山彰ブック・コレクションより — 開館時間 午前10時 ~ 午後6時 (入場は午後5時30分まで)
休館日 毎週月曜日 (ただし3月21日「月休」は開館、3月22日「火」は休館)

主催 世田谷美術館 (公益財団法人せたがや文化財団)
後援 世田谷区、世田谷区教育委員会、服飾文化学会
特別協力 神戸ファッション美術館、東京家政大学
協力 アトリエ染花、文化学園大学

私たちが普段身につけている洋服。明治時代以降、徐々に日本の生活に浸透していったこの西洋の服は、どのような変遷を経て現在のかたちに至ったのか。それは、ファッション・デザインを志している人でなくとも、興味深いのではないのでしょうか。

ファッション・デザインの教育者として、服飾の歴史の重要性和魅力に強く惹かれた人物に、石山彰(1918-2011)がいます。石山氏は大学で長く教鞭をとり研究を続けるとともに、服飾史に関連する書籍・資料を蒐集していきました。

本展覧会ではこの貴重なコレクションのなかから、16世紀以降の服飾や風俗を伝える書籍と、18世紀末以降の最新流行を伝える雑誌(ファッション・ブック)や版画(ファッション・プレート)、遠い土地への憧れと結びついた民族服の研究書と20世紀初頭に登場した新しいスタイルのイラストレーション、さらに日本の洋装化の始まりを描いた錦絵を、神戸ファッション美術館が所蔵する同時代の衣装や版画と合わせてご紹介します。

移ろいゆく時代の瞬間の証言者であるこれらの歴史的資料を通覧することで、太古より続いてきた美を巡る人類の営み、そして現代のファッションへと想いをはせることになるでしょう。



1 ジャン・ミシェル・モロー《マリリーでのランデヴァー》、「18世紀フランスの慣習と流行の歴史に資するための版画集」第2巻、1776年 2 《パリの装い 緞織のオーガンジー製の布地で作られたカポット》、「ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード」、1802年収録月25日 3 ルイ=マリー・ランテ《パリの服装》、「ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード」、1834年9月30日 4 「ラ・モード」、1846年11月5日 5 《女性の祭りの衣装 1835年》、「ギリシャの民族衣装」第1巻、編：アントワヌ・ベナキ、1948年 6 シャルル・マルタン《雪》、「モード・エ・マニエール・ド・ジュルデュイ」、1913年、神戸ファッション美術館蔵 7 楊洲周延《秋園菊花の盛》、1887年 8 《ウェディング・ドレス》、1873-75年頃、神戸ファッション美術館蔵

関連企画

◎講演会「モダン・ファッションの起点 ポショワールのファッション・ブック」
20世紀に入り、コルセットを必要としないドレスが出現するとともに、ファッション・ブックではポショワールという技法が登場しました。ファッションの新しい時代を象徴する、この二つの表現の魅力に迫ります。
講師：能澤慧子(本展監修者、東京家政大学教授)
日時：2016年2月13日(土) 午後2時～午後3時(開場は午後1時30分)
会場：当館講堂 定員：当日先着140名 ＊当日午後1時よりエントランス・ホールにて整理券を配布。
参加費：無料 手話通訳付

◎創作ワークショップ「ヴィクトリアン・スタイルでつくるコースージュ」
数多くのファッション・デザイナーとコラボレーションしているアトリエ染花によるワークショップ。日常使いがができるオリジナルのコースージュを、生地を染めるところからつります。
講師：浅岡三恵・山岸愛(アトリエ染花)
日時：2016年4月3日(日) 午後2時～午後5時
会場：当館地下創作室 定員：20名(抽選) 対象：16歳以上
参加費：4,000円(材料費込) 申込方法：当館ホームページ「プログラム&イベント」参加申込フォームより
申込期間：2016年2月13日(土)～2月29日(月)

◎100円ワークショップ
どなたでもその場で気軽に参加できる工作など。
日時：会期中の毎土曜日 午後1時～午後3時
会場：当館地下創作室 参加方法：時間中随時受付 参加費：1回100円

◎美術と演劇のワークショップ「えんげきのえ」
展示作品を見ながら、演劇の初めの一步を踏み出すシリーズ。憧れの服をつくる人、着る人、見るだけの人…ファッションの歴史の一コマを演じたらどうなる？
講師：柏木陽(演劇家、NPO法人演劇百貨店代表)
日時：2016年3月13日(日) 午後1時～午後6時
会場：当館地下創作室、企画展示室等 定員：10代以上の方15名(申込先着順)
参加費：10代の方500円、20代以上の方2,000円
申込方法：当館ホームページ「プログラム&イベント」参加申込フォームより、またはお電話にて

観覧料
一般1,000(800)円、65歳以上800(600)円、
大高生800(600)円、中小生500(300)円
*()内は20名以上の団体料金。障害者の方は500円、
ただし小・中・高・大学生の障害者は無料。介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。
＊リピーター割引：会期中、本展有料チケットの半券をご提示いただくと、2回目以降は団体料金にてご覧いただけます。

世田谷美術館 Setagaya Art Museum

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2
Tel.03-3415-6011(代表)
展覧会のご案内：03-5777-8600(ハローダイヤル)
www.setagayaartmuseum.or.jp



交通案内：○東急田園都市線「用賀」駅下車、北口から徒歩17分/美術館行バス①「美術館」下車徒歩3分 ○小田急線「成城学園前」駅下車、南口から渋谷駅行バス②「砧町」下車徒歩10分 ○小田急線「千歳船橋」駅から田園調布駅行バス③「美術館入口」下車徒歩5分 ○来館者専用駐車場(60台、無料)：東名高速道路高架下、厚木方面側道400m先。美術館まで徒歩5分

併設
十次
回展
情報

同時開催：ミュージアム コレクション
〈それぞれのふたり〉シリーズ 「小泉淳作と小林敬生」
2015年12月20日(日)～2016年3月27日(日)
「世田谷の仲間たち」(仮称)
2016年4月9日(土)～7月10日(日)
次回企画展：「竹中工務店 400年の夢」
2016年4月23日(土)～6月19日(日)